

ふるさと大使の熱い久留米愛 鮎川誠、植田真梨恵がトークイベント

4月22日、くるめふるさと大使の鮎川誠さんと植田真梨恵さんが、西鉄久留米駅ビル内「エマックス・クルメ」の50周年記念のトークイベントに登場しました。
鮎川さんは高校時代に石橋文化センター、植田さんはプロを目指して大阪に行く直前にエマックスと、それぞれの初舞台の思い出を紹介。「カルチャーの度合いが高い」「ずっと変わらない、ほっとする場所」など、ふるさとへの愛着を語りました。



大使2人がふるさとでの思い出を熱く語りました

400品種が鮮やかに 春のバラフェア開催中

石橋文化センターは5月19日(日)まで、春のバラフェアを開催しています。芳醇な香りを楽しむ「香りのバラ園」やマリリン・モンローなどにちなんだバラを集めた「著名人のバラ園」など、400品種2600株が園内を華やかに彩ります。
林輝美さん(福岡市)は、「実家は久留米ですが、初めて来ました。予想以上にたくさん咲いていて驚きました」と友人と楽しんでいました。



カクテルというバラのアーチには多くの人が集まっています

春の陽気に包まれて 久留米つつじマーチ

4月20日と21日、九州最大級のウォーキングイベント「久留米つつじマーチ」が開かれました。全国から延べ1万4751人が参加。晴天に恵まれ、春の陽気の中、汗を拭いながら楽しみました。
初日の20kmコースを歩いた内田ひさ子さん(小森野)は、「姉妹で参加するため、ウォーキングを始めました。天気が良く、つつじもきれい。来年再来年も参加したいですね」と話しました。



森林つつじ公園では、色とりどりのつつじが参加者を出迎えました

ストリートラグビーを初体験 くるめ楽衆国まつり

4月29日、「くるめ楽衆国まつり」が開催されました。歩行者天国となった明治通りには、野菜や雑貨などの露店約100店舗が並び、家族連れなどでにぎわいました。
六角堂広場には、「ストリートラグビー」のフィールドが登場しました。タックルの代わりに相手をタッチするルールで、3人でトライを目指します。岡田駿人さん(福教大附属久留米小4年)は、「ラグビーをやるのは初めて。相手が低い姿勢でボールを取りにくるのが面白かったです」と話しました。



相手チームのディフェンスの間をかいくぐり、駆け抜ける参加者

市政の動き

コールセンターが続々と進出 ワイズ・ヒューマン社と協定締結

健康食品販売の「やすや」の子会社で、コールセンター事業を担う「ワイズ・ヒューマン」(福岡市)の進出が決まりました。
やすやからの業務増などを受け、東和町のオフィスビルに事務所を開設。顧客からの受注や問い合わせへの対応などを担い、8月に事業を開始します。従業員は30人で、うち20人は地元から採用する予定です。



大久保市長(右)と握手する坂口社長(左)と、やすやの矢頭徹社長

令和がスタート 御記帳に417人

5月1日、新元号「令和」がスタートしました。0時には、本庁舎の夜間窓口に、新しい時代の初日に婚姻届を出そうとする人の列ができていました。
また、本庁舎1階ロビーには、天皇陛下の即位に伴う記帳所を設置。5月1日から6日までで417人が、新天皇への祝福の意を込め、記帳しました。
◎総務課(☎0942・30・9052、FAX0942・30・9706)



多くの市民が訪れた記帳所

4月15日に、本庁舎で行われた協定締結式で、大久保市長は、「本市には研究開発の拠点があり、人材も豊富です。グループの発展に期待しています」とあいさつ。同社の坂口優子社長は、「久留米の皆さんと共にお客様の満足度向上に努めていきたい」と話しました。
◎企業誘致推進課(☎0942・30・9135、FAX0942・30・9707)

入館者1万人突破 坂本繁二郎展

4月6日から久留米市美術館で開かれている「没後50年 坂本繁二郎展」の入館者が、5月6日に1万人を突破しました。1万人目の入館者は、武藤早貴さん(荒木町)と娘の百希さん、友人の古賀未紗希さん(同町)。武藤さんは、「文化センターのバラフェアに来て、園内の坂本繁二郎旧アトリエで話を聞いたら、本物の絵が見たくなって。良い記念になりました」と話しました。
◎文化振興課(☎0942・30・9224、FAX0942・30・9714)



森山秀子副館長(左)から記念品を受け取る武藤早貴さん(右)